日本を、取り戻す。

茂木敏充国会通信

2015年　夏号

■国会事務所／千代田区永田町2-1-2　第2議員会館1011号室　TEL 03(3508)1011
■足利事務所／足利市伊勢町4丁目14-6　TEL 0284(43)3050
■栃木事務所／栃木市大町22-7　MTビル1階　TEL 0282(24)4776
■佐野事務所／佐野市堀米町608-8　オフィス堀米2階F室　TEL 0283(21)5350
■ホームページ：http://www.motegi.gr.jp
■E-mail：toshimitsu@motegi.gr.jp
■発行所：自由民主党栃木県第5選挙区支部

2014年9月3日　自民党新執行部（選挙対策委員長）に就任

自民党選挙対策委員長
衆議院議員　**茂木敏充**

昨年末の総選挙は、私が自民党の4役・選挙対策委員長に就任してすぐの大きな選挙でした。選対委員長という役職のため、全国を応援で駆け回る毎日で、なかなか選挙区に戻ってくることができませんでしたが、地元の皆様からの絶大なるご支援を賜り、大きな得票で8期目の連続当選を果たすことができました。皆様からのご支援に心より御礼申し上げます。

昨年の総選挙の結果

自民党は、2012年12月の総選挙で「日本を取り戻す」とのキャッチフレーズのもと、政権を奪還し第2次安倍政権を樹立しました。そして、一昨年夏の参議院選挙の勝利で、衆参のねじれも解消しました。

更に、政権基盤の強化とアベノミクスの加速に向け、「景気回復、この道しかない」とのキャッチフレーズで、昨年末、再び総選挙を行い、自民党は291議席を獲得することが出来ました。自民党として現行制度（小選挙区制）の衆院選で2回連続290議席以上を獲得したのは初めての事です。選対委員長としての責任も果たすことができました。

特に、わが党で前回初当選し、今回2期目を目指す候補者は117名いましたが、このうち105名が再選を果たしました。再選率は89.7%に及び、次ページ（図1）のように、過去繰り返されてきた新人議員の大量落選現象（図の下から小泉チルドレン83人の再選は10人・再選率12.8%、民主党の新人は143人から5人に激減、民主党で出馬した84人の再選率でも6%以下）、この選挙の度ごとに大幅な議席変動を繰り返す「振り子現象」に終止符を打ち、安定政権を確立することができました。

図1　第45回～47回総選挙における1期生の選挙結果

① 第47回総選挙で再選した自民党1期生の数と再選率

第46回総選挙時の当選者数	119 名		
第47回総選挙時の自民党1期生について	候補者数	当選者数	当選率
小選挙区候補者数・当選者数	102	65	63.7%
（合計）小選挙区＋比例復活＋純粋比例候補者数・当選者	117	105	89.7%

② 第46回総選挙で再選した民主党1期生の数と再選率

第45回総選挙時の当選者数	143 名		
第46回総選挙時の民主党1期生について	候補者数	当選者数	当選率
小選挙区候補者数・当選者数	83	2	2.4%
（合計）小選挙区＋比例復活＋純粋比例候補者数・当選者	84	5	5.9%

③ 第45回総選挙で再選した自民党1期生の数と再選率

第44回総選挙時の当選者数	83 名		
第45回総選挙時の自民党1期生について	候補者数	当選者数	当選率
小選挙区候補者数・当選者数	68	4	5.8%
（合計）小選挙区＋比例復活＋純粋比例候補者数・当選者	78	10	12.8%

一方、民主党は、前回を16上回る73議席を獲得しましたが、目標とする100議席台には届かず、海江田代表自身も落選する結果となりました。

ただし、選挙結果を地域別に見ていくと、北陸・中国など自民党の地方基盤が盤石な地域は優勢に戦いを進める一方で、東海・近畿はじめ都道府県議会などの勢力が脆弱な地域では、衆院選でも不振な結果となりがちです。

これが統一地方選の大きな課題との認識で、4月の統一地方選に臨みました。

2014年12月14日　衆議院総選挙投開票　自民党本部にて

4月の統一地方選について

◇4月12日投開票の前半戦

今回の統一地方選で最重点で取り組んできた知事選については、与野党対決型となった北海道知事選・大分の知事選、さらに当初接戦が予想された奈良の知事選にも勝利し、10すべての知事選挙において、わが党が推薦・支援する候補者が勝利を飾ることができました。

また、全国41の道府県議会議員選挙についても、多くの政党が守りの選挙に入ったのに対して、わが党は公認候補者を積極的に擁立し、1,153名の当選を果たしました。

最近なかなか自民党として過半数に届かなかった中で、今回は改選議席の過半数（1,143議席）を上回ることができました。実に1991年以来、24年ぶりのことです。

◇4月23日投開票の後半戦

後半戦の100の市区長選挙などでも、自民党の推薦候補者56名のうち47名が当選。また、市議会議員選挙（295カ所）でも634名の公認候補者が当選し、前回の514名を120名も上回りました。

今回の統一地方選で各地域の皆様から頂いた大きなご支援を受けて、地方創生はじめ選挙戦で訴えた政策をさらに前に進め、また国会においても平和安全法制、労働法制など重要法案の成立を期して参ります。

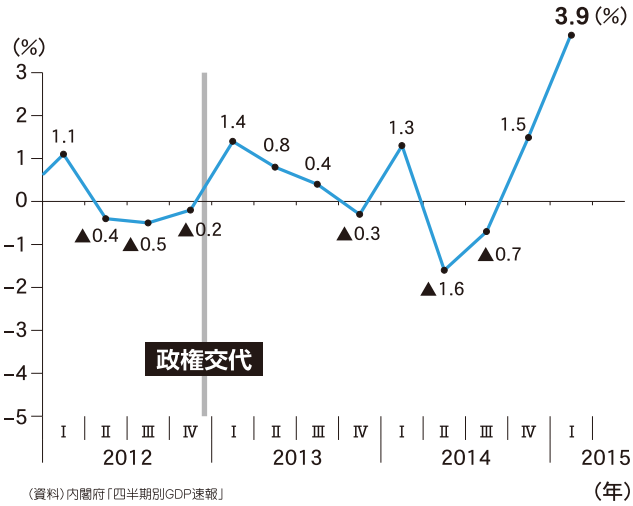
アベノミクスの基本方針

日本経済の現状については、「アベノミクス」が具体的な成果を上げてきています。政権交代から、この2年半で日本を覆ってきたデフレは解消し、株価は民主党政権時代の8千円台から、今、2万円台になってきました。

また、昨年4月の消費税引き上げの反動減で落ち込んでいたGDPも、（図2）のように昨年の10-12月は年率で+1.5%に戻り、今年の1-3月期はさらに+3.9%に拡大しています。

アベノミクスについては評価や批判など様々な意見もありますが、経済・景気の良し悪しを見る基本指標はどの国でも「雇用」と「所得」の2つ。

図2　実質GDP成長率（年率）の推移

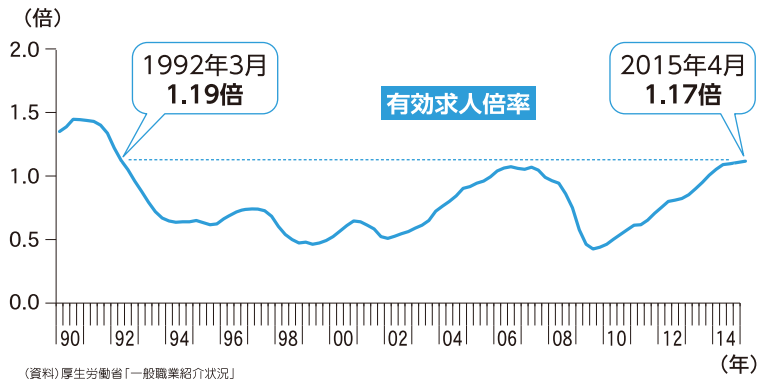


（資料）内閣府「四半期別GDP速報」

この点、まず「雇用」、就業者数はこの2年で100万人以上増加しました。仕事を探している人と企業の求人の比率、いわゆる有効求人倍率は（図3）のように1.17倍でバブル崩壊以降、この23年で最高水準です。非正規から正規への転換促進など、まだ課題はありますが雇用情勢は明らかに改善しています。

もう一つの所得についても、昨年の賃上げ率は大企業だけでなく中小企業も含め、平均で2%以上と過去15年で最高となりました。今年の賃上げはこれをさらに上回ることになると思います。

図3　有効求人倍率



（資料）厚生労働省「一般職業紹介状況」

アベノミクスの基本方針は①企業の競争力の強化・生産性の向上を通じ、収益の向上→②雇用の増加、賃金・所得の向上→③消費の拡大→④企業の生産・投資の更なる拡大→という経済の好循環を作ることです。

このサイクルを回すエンジンとなる企業の収益改善と賃上げについて、今年、来年と続けば、好循環は確実に作り出せると思います。

12月14日　総選挙開票で谷垣幹事長と

「地方創生」への取り組み

この経済の好循環、景気回復の実感を全国津々浦々に届けるための政策が地方創生です。

この地方創生は、少子高齢化・人口減少問題に直面する日本の最優先課題です。地方が自らのアイディアで自由に使える新たな「地方創生交付金」など、今年は1兆円の予算を用意しています。しかし、国の補助金に合わせて地方が事業計画作るのでは本末転倒です。地方のやる気やアイディアを重視していきたいと思います。

今後は、地方から東京圏への人口流出に歯止めをかけるため、本社機能の地方移転も進めていきます。このため、企業の本社機能について、東京圏から地方への移転促進や地方での新設・増設のための投資減税や雇用促進税制の特例などを今年から行うことにしました。

そして、外国人観光客もこの2年間で500万人増え、1,300万人を超えました。2020年の東京オリンピック、パラリンピックの頃には2,000万人も突破するでしょう。これらの人々を地方に呼び寄せる、地方の観光資源をもっと活用するチャンスでもあります。

来年の参院選に向けて

2012年12月の総選挙で自民党は政権を奪還し、2013年夏の参議院選に勝利することによって衆参のねじれを解消しました。さらに昨年末の総選挙で連続の勝利をおさめることで、安定した政権基盤を確立し、今年4月の統一地方選挙で地方の基盤も強化することができました。

最終決戦は来年の参議院選挙。この参院選勝利のポイントは2つです。

1つ目のポイントは比較的議席の変動の少ない2人区以上の複数区に対し、議席の変動が大きい1人区での勝負。栃木県もその1人区の一つで上野みち子参院議員が再選を目指しますが、特に31の1人区のうち、ここ数回の参院選で議席が激しく変動してきた10前後の激戦区をいかに戦うかにかかっています。

2つ目のポイントは、比例代表の獲得議席。これも変動が大きく、この比例での投票は、選挙時点の内閣支持率・政党支持率に大きく左右されます。

実際、自民党が野党であった前々回2010年の参院選では、自民党支持率は20%、獲得議席は12議席だったのに対し、前回2013年の参院選では内閣支持率が55%を超え、自民党支持率も40%を超えて18議席獲得出来ました。

1人区で最良・最強の候補者を早期に擁立するという選挙戦略の上に立ち、政権・与党が内外の重要課題への対応で、いかに国民の皆様の信頼を獲得できるか、という当たり前と言えば当たり前、しかし極めて困難な課題に真正面から取り組んで行きたいと思います。

国会も9月27日までの大幅延長となり、これからも忙しい毎日が続きます。皆様にも盛夏の折、くれぐれもご自愛下さい。

選対委員長として日本全国を駆け回る

選挙中は日本全国で、候補者の応援をしてきました。

2014年12月4日
大阪7区応援

2014年12月10日
埼玉5区応援

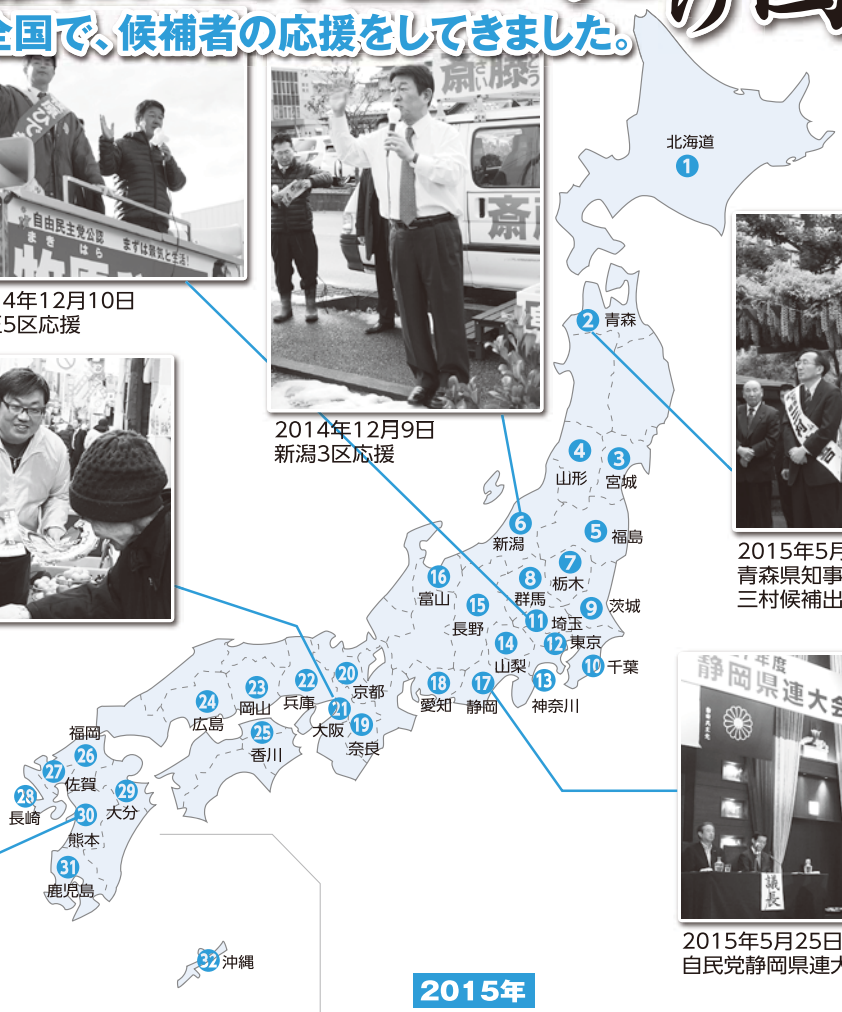
2014年12月9日
新潟3区応援

2014年12月4日
大阪9区応援

2015年5月21日
青森県知事選
三村候補出陣式

2014年12月5日　熊本1区応援

2015年5月25日
自民党静岡県連大会



2014年

10.17	⑤福島県知事選応援
10.25	⑮自民党長野県連政経懇談会 講演
10.31	㉓岡山県政令指定都市議員連絡協議会 ・議員連盟合同総会 講演
11.1	㉔自民党広島県連政経文化懇談会
	⑧自民党埼玉県連戸田支部研修会 講演
11.2	㉚熊本市長選応援
11.6	①旭川市長選応援
11.8	⑨茨城県議選応援
11.8~10	㉜沖縄県知事選・那覇市長選応援
11.27	⑭衆院選 山梨2区応援
12.2	⑧衆院選 群馬1区、2区応援
12.3	⑮衆院選 長野1区応援
	⑭衆院選 山梨1区応援
12.4	㉒衆院選 兵庫2区応援
	㉑衆院選 大阪7区、8区、9区応援
12.4~5	㉚衆院選 熊本1区応援
12.5	㉘衆院選 長崎1区、2区応援
12.6	㉖自民党福岡県連政経セミナー 講演
	⑪衆院選 埼玉6区、12区応援
12.8	㉛衆院選 鹿児島1区、3区応援
12.9	⑥衆院選 新潟2区、3区、4区応援
12.10	⑪衆院選 埼玉5区応援
	⑫衆院選 東京1区応援
	⑬衆院選 神奈川4区、8区、9区応援
12.11	⑱衆院選 愛知県選挙区1～5区、7・8区、13・14区応援
	⑲衆院選 奈良1区応援
12.12	⑳衆院選 京都2区、3区、6区応援
	㉑衆院選 大阪1区、14区、18区、19区応援
12.13	⑨衆院選 茨城5区応援
	⑧衆院選 群馬2区応援

2015年

1.8	㉗佐賀県知事選応援
1.21	㉖北九州市長選応援
2.1	⑲自民党奈良県連決起集会 講演
2.11	⑥自民党新潟支部新年懇親会 講演
3.22	③自民党宮城県連定時大会
3.23	㉖福岡市長選応援
3.25	⑪埼玉8区「ところざわ未来フォーラム」
3.26	①北海道知事選応援
	⑦栃木県議選応援
4.1~2	㉙大分県知事選応援
4.3~4	⑦栃木県議選応援
4.5~6	①北海道知事選応援
4.7	⑲奈良県知事選応援
4.8	㉒兵庫県議選応援
4.9	⑭山梨県議選応援
	㉔広島市長選応援
4.10~11	⑦栃木県議選応援
4.19	⑦足利市議選応援
	⑫世田谷区長選応援
4.21~22	⑫渋谷区長選応援
4.23·24·25	⑦足利市議選応援
4.23	⑫世田谷区長選、区議選応援
5.18	⑱名古屋ミッドランド毎日フォーラム 講演
5.21	②青森県知事選応援
5.25	⑰自民党静岡県連大会
5.31	㉕自民党香川県連大会
6.3	㉚自民党熊本県連政経セミナー 講演
6.13	⑩自民党千葉県連定期大会
6.13~14	①自民党北海道連定期大会
7.6	㉑衆議院議員 原田けんじ君を励ます会
7.10	⑯富山参院選挙区第二支部総会 講演
7.11	④自民党山形市支部決起大会 講演